



いいね! : fujisawa.yasuhiko、他7人

ikusaka_tattoko ·
生坂のおとうさん達が活躍。
おじさま倶楽部のみなさんの登場です!

新しいことに挑戦し自分自身の暮らしを楽しみ、そして地域へ貢献することを目的に、2007年からその活動が始まった任意団体である「おじさま倶楽部」。そば打ち、農産物栽培を活動を柱に、生坂村の遊休農地の活性化と村に住む男性の元気につながる活動をしています。

かあさん家の野菜栽培も彼らの活動によるもの。

おじさま倶楽部の打った美味しいそばは村営の「やまなみ荘」でお召し上がりいただけます。ぜひ、味わってみてください。

#やまなみ荘 で食べる #信州そば は格別です。

- #いくさか便り
- #龍と子
- #どうずらいいくさか
- #いいずらいいくさか
- #どうずらいいいずらいいくさか
- #生坂村
- #東筑摩郡
- #長野県
- #脱炭素先行地域
- #ゼロカーボン
- #カーボンニュートラル
- #ゼロカーボン事務局
- #生坂村

3月6日

Instagram

WEB



生坂村公式ウェブサイトの公開とSNSの運用が始まりました。ぜひ、Instagramをフォローしてください!

INTERVIEW

「親と子(成田家)」

Q1. 生坂村のどこが好き?

助け合いの文化があるところ。

Q2. 親から子へ、この村で未来に残したいものなどありますか?

灰焼きおやき、おにかけうどんなどの食文化や蛇行する犀川を中心とした風景は、本当に素晴らしいので未来に繋いでいきたい。

Q3. 本事業に期待していることは?

環境のことを一人一人が真剣に考えるいい機会ではないでしょうか。大きな事業なので、賛成、反対、様々な意見があると思いますが、世の中には反対意見やクレームから素晴らしいサービスがたくさん生まれているので、議論を重ねて、未来に財産となることを願っております。

NEWS 公式HP公開!!

龍と子



現在、公式HP公開に向けて準備を進めております。公開は3月末頃(トップページのみ、順次更新してまいります)を予定しております。脱炭素事業のこと以外にも、生坂村の魅力を村内の方ももちろん、村外、県外の方にも知ってもらえるように情報発信を行っていく予定です。どうぞお楽しみに!

[発行元]生坂村 [編集]いくさかゼロカーボン事務局
[電話]050-3354-7715 [メール]info@green-ikusaka.org
[住所]生坂村5471-8(旧窪田商店) [平日]9:00~17:00

いくさか便り 龍と子



TOPICS

- 木質バイオマス利活用に向けた森林調査の中間報告
- 事業進捗
- Instagram おじさま倶楽部
- Interview 親と子



FEATURE

木質バイオマス利活用に向けた 森林調査の中間報告

第11回ゼロカーボン推進プロジェクト会議では木質バイオマス利活用に向けた森林調査の中間報告が行われ、生坂村村内10地区の森林に詳しい方への聞き取り調査を行なったその内容から抽出された現状と課題が示されました。具体的な森林整備は全く進んでおらず、森林は、放置してもすぐに大きな問題にならないため、問題が先送りされてきている可能性があるが、これ以上先送りできない状況になってきているのが生坂村の森林の現状です。

(1)森林の手入れ、整備の促進

森林の課題は明確であるが、実際に誰が、どのように、どの予算でという具体的な計画を立て、実行することができていない。しかしながら森林整備を行うとなれば、所有者は協力するであろうと思われる。

(2)木材利用の促進

昔の森林は、生活に必要なものとして活用されていたからこそ、管理もされていた。今後、森林整備を進めると同時に、その利用を促進する必要がある。シルバー人材センターの薪ステーションでの薪づくりや、高津屋でのシイタケ原木、地域の任意団体による簡易製材など、すでに村内で木材活用が行われている。今後、森林整備を進め、さらに多くの木材が供給されると考えると、村内での木材利用をさらに進めたい。

課題も多いですが、高津屋周辺の広葉樹林のように目指すべき森林も村内に存在します。ナラ・クヌギを中心とした広葉樹の林は明るく景観も美しく、山菜やキノコが獲れたり木材利用以外のメリットもあります。この広葉樹林は20年程度で伐採を繰り返して整備・管理されています。令和5年度に行われた森林調査の最終報告はこれからになりますが、地域の皆さまのお力もお借りして、生坂村の森林管理について考えたいと思います。生坂村では森林の管理・運営に係る登用を検討しております。ご興味のある方は村づくり推進室までお問い合わせください。

(3)人材不足

森林整備を進めるにあたっては人材が不足している。村内で森林に関わってもらえるような人を増やしていく必要がある上に、村外から森林に関わってくれる人を増やしていくことも、同時に考えなくてはいけない。所有者で無い人で森や竹を活用したい人はたくさんいるといった意見もあり、所有者と利用希望者をうまくつなぐ仕組みがあれば、少しずつでも森林に関わる人を増やしていける。また、実際の森林作業をする人だけでなく、生坂村全体の森林を管理、運営していく調整役の人材も重要だと考えられる。

村では生坂村の森林を管理・運営していく人材の登用が喫緊の課題であると認識し、先日、長野市で行われた「くらしふとカンファレンス2024」では参加企業に対し生坂村の林業の形を一緒に構築してくださる人材の募集を呼びかけました。まずは地域と共にできることから第一歩を踏み出そうと、森林調査を行なった合同会社ラーチアンドパインの小平代表もゼロカーボン事務局でお話ししてくださいました。



PROGRESS

脱炭素先行地域事業の現在の進捗状況

(令和6年3月20日現在)

脱炭素事業に関する村民説明会は、2月29日の小立野の村民説明会をもって、全10区が完了しました。説明会でいただいたご意見、ご質問については、内容のまとめが出来ましたら、今後皆さまにお示してまいります。年度末に向けて、令和5年度の各事業の調査、設計等については、まとめの段階になりました。毎月の定例で開催される生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議を通じて、調査報告に基づく事業検討を引き続き、進めてまいります。

マイクログリッド事業

マイクログリッド事業では、接続を予定する施設等の冬季の電気使用状況の調査を2月から3月にかけて進めています。引き続き、事業計画や設計に向けて作業を行っています。



EV化の推進・EVシェアリング

公用車のEV化については、株式会社エコロミの下請け業者である、東京の「株式会社 REXEV」により、2月のプロジェクト会議で公用車の稼働状況やEVシェアリングの考え方などを報告いただきました。引き続き、会議を通じて、EVシェアリングの計画提案をいただく予定としています。

生坂ダムの小水力発電

生坂ダムの小水力発電では、3月12日に長野県庁において、千曲川河川事務所、県河川課、東京電力リニューアブルパワーと生坂村及び株式会社エコロミにより、小水力発電についての基本計画の内容共有を行いました。引き続き、詳細な基本設計をもとに、協議を進めていきます。



事務局運営サポート業務

事務局運営サポート業務は、「合同会社ヒツタイショ」が、上生坂の旧窪田商店を事務所として、脱炭素事業に関する問い合わせ窓口として、電話、メール、訪問対応をしています。情報発信では、「いくさか便り 龍と子」として、毎月25日の全戸配布による配布物やティザーサイトをリニューアルし最新の情報掲載を行うべく進めています。脱炭素事業に関する村民説明会の内容についても、情報掲載に向けて準備を進めていきます。

木質バイオマスの活用

3月8日に愛知県豊根村のペレット工場の視察を生坂村と株式会社エコロミで行いました。豊根村は人口1,000人程で、同村内でのペレット工場の稼働実績は20年近くになることから、小規模村での施設の運営や材の供給について、事業構築に向けた参考となる内容でした。

引き続き、村の山林整備の方針や林業構築に向けた検討を進めていきます。



オンサイト、オフサイトのPPA事業

オンサイトPPAは、「株式会社いくさかてらす」の受注業者である平林建設株式会社が、村内の設置調査や電力の計測調査を進めています。

また、オフサイトPPAについては、調査結果をまとめて、お示ししていく予定です。

